

令和3年度 決算報告

決算は、村がどのような事業を行い、どのようなお金が入ってきたかなどをとりまとめたものです。令和3年度の決算や財政指標から、本村の財政状況をお知らせします。

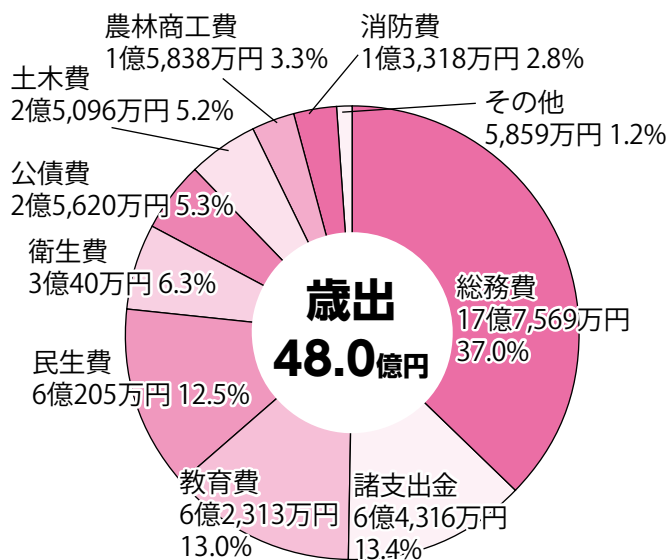
令和3年度一般会計決算は、歳入51億9,673万円、歳出48億174万円、前年度と比べると歳入で3,319万円の増加、歳出で7,952万円減少した決算となりました。

また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の合計10会計を合算すると、歳入74億5,691万円、歳出71億9,513万円となり、新庁舎建設推進事業費の増加や特別定額給付金給付事業の減少などにより、前年度と比べると歳入で1億9,300万円の増加、歳出で3,180万円の減少となりました。

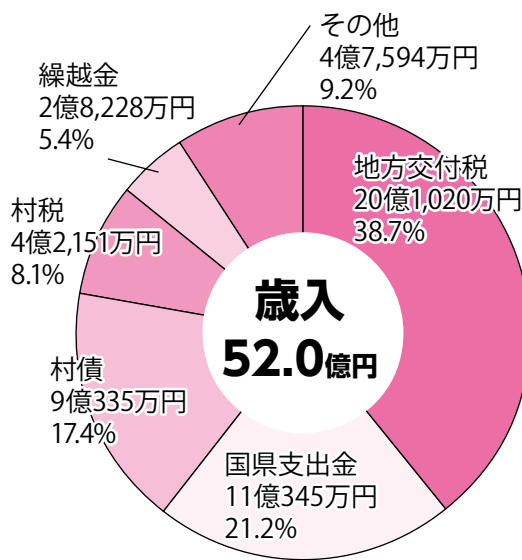
財政健全化法に基づいた判断比率は、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果ができました。今後も引き続き、健全な財政運営の取り組みをおこなっていきます。

一般会計決算内訳

歳出



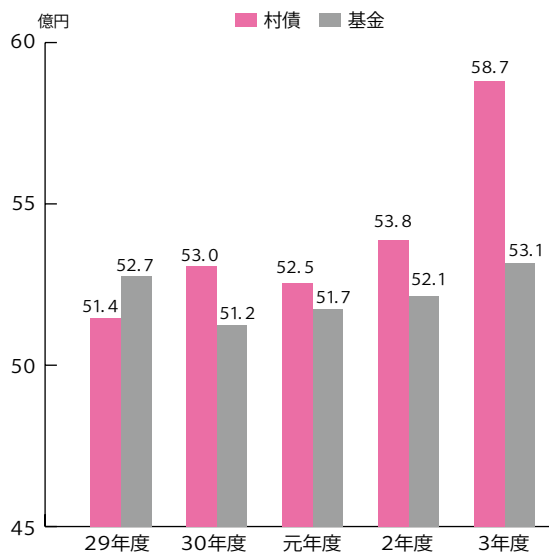
歳入



特別会計・事業会計決算額

会計名	歳入	歳出
整備基金	3,467万円	3,154万円
高松塚壁画館受託事業	700万円	700万円
国民健康保険 (事業勘定)	8億4,213万円	8億1,469万円
// (診療施設勘定)	1,019万円	1,019万円
後期高齢者医療	1億853万円	1億851万円
介護保険 (事業勘定)	6億6,614万円	6億5,473万円
// (サービス事業勘定)	380万円	380万円
飲料水供給施設事業	876万円	876万円
公有地等住宅開発事業	211万円	211万円
水道事業会計	2億905万円	3億979万円
下水道事業会計	3億6,781万円	4億4,229万円

村債 (借金) と基金 (貯金) の推移



令和3年度に実施した主な事業

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

◆生活環境及び産業基盤の整備

幼小中学校経営事業

4,837万円 幼小中一貫教育の特色を活かした教育として、各校教員の相互乗入れ授業を行い、学級担任制から教科担当制への円滑な移行や英語教育、明日香ならではの郷土学習（「明日香学」）の充実を図った。また、臨床心理士や特別支援員を配置し、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行い、学力向上と自立した感性豊かな子どもの育成を目指した。

学校施設環境整備事業

3,628万円 学校施設の長寿命化を図り、安心安全な学習環境を確保するため、老朽状況や過去の改修実績等に基づき国の財政的支援策を活用しながら年次計画的に取り組んだ。〔小学校床改修工事（繰越明許分）・給食センター給水管等取替工事・中学校老朽改修工事設計業務〕

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

◆健康・福祉

健康福祉センター機能再編計画策定事業

397万円 新庁舎建設にあたっての事務所移転後の空間の有効活用を図ることで、コロナ禍においても子どもから高齢者まで幅広い世代が集いやすいような健康福祉センターの新たな施設のあり方と利用拡大を図っていくための計画を策定。

地域包括ケア体制構築事業

5,772万円

- ・コロナ禍のフレイル対策として、健康福祉センターから大字集会所へあすか長生き体操の動画を同時配信し、生活に身近な場所での実施。また、民生児童委員の訪問活動やふれあいサロン活動などを通じて見守り支援を実施。
- ・社会福祉協議会では、買い物支援の体制を見直し、担い手の育成支援や公共交通機関の活用等に向けて体制を整備するなど、継続的な事業の定着を図った。

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

◆安全・安心・生活環境・定住

消防団指揮車購入事業

315万円 消防団員の移動や火災・災害時の作戦本部として活用するための消防団指揮車を更新。



地域防犯推進事業

288万円 地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯 LED 化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。（防犯灯 LED 化補助 45基、防犯カメラ補助 4大字、防犯灯修繕 9基）

公共交通運行事業**4,619万円**

- ・交通弱者の外出支援を行うため、乗合交通等の導入や福祉運賃の設定、バス路線の維持を実施。【H15～】^{あまぎ}四阿の設置を実施。また、村の状況変化や社会情勢の変化に対応した公共交通とするための計画検討と併せ、実証運行に向けた準備を開始。【R2～】
- ・金かめ乗合交通の運行 ・コミュニティタクシー運行 ・福祉運賃委託（周遊バスにおける高齢者・障がい者の外出支援）
- ・路線維持負担金（八木下市線、桜井飛鳥線）

下水道施設整備事業**1,903万円**

老朽化する下水道施設について計画的かつ効率的に点検・調査・修繕等を行い長寿命化を図るため、ストックマネジメント計画（管路）を策定した。

新庁舎建設推進事業**7億7,271万円**

実施設計を完了し、開発等の許認可を取得後、造成工事を実施。併せて、新庁舎に必要な備品の取得等に向けた準備作業を実施。

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

◆農業・林業・商工・観光・雇用

農村魅力づくり事業**1,000万円**

- ・耕作放棄地を解消し、就農者へ良好な農地として斡旋を目指すとともに、世界遺産にふさわしい農村景観を創出し来訪者へのもてなしの演出を実施。
- ・また、農業資源を活用した多様な農業体験メニューの開発を実施。

農商工活性化支援事業**1,782万円**

- ・農業戦略に基づき、重要作物である水稲作物及び省力化野菜の生産拡大、マコモダケ・ショウガ等の持続可能作物の栽培実証を実施。
- ・マーケットインの視点から付加価値を見直し、農産物や加工品のブランディング強化による販売力強化の取り組みを実施。

観光基盤整備事業**838万円**

観光戦略に基づき、滞在型観光の満足度を高めるための旅行商品・体験プログラムを造成するとともに、西明日香地域におけるサイン設置など、受入地環境基盤整備を実施。

飛鳥ハーフマラソン事業**1,800万円**

コロナ禍で様々な制約はあったものの、全国から多数のランナーに参加いただき、明日香の魅力を存分に堪能いただくことができました。（出走者数 2,726名、完走者数 2,676名、完走率 98.1%）

**世界遺産登録による歴史的風土を守り生かし新たな文化をつくり出す村**

◆保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

世界遺産登録推進事業**379万円**

世界遺産登録推進協議会を中心として、専門家のアドバイスを受けながら推薦書素案を再修正し、令和4年6月に文化庁へ最終素案を提出。普及啓発活動として講演会を実施。

牽牛子塚古墳等整備事業

1億1,373万円 齊明陵とされる八角墳の国史跡牽牛子塚古墳と隣接する越塚御門古墳の保存・活用に向け、歴史的風土にふさわしく飛鳥を体感できる施設とするための一体的復元整備工事を実施。（R4.3.5供用開始）

古代飛鳥再現事業

2,527万円 飛鳥の歴史文化資源の「見える化」を図るため、古代飛鳥を復元する手法の検証を行い、飛鳥時代を体験できるようコンテンツ等の開発を行った。【越塚御門古墳解説コンテンツ制作・伎楽復元・世界遺産解説機能強化】

**新型コロナウイルス感染症対策事業****会議用マイク設備整備事業**

237万円 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、マイク設備等の会議用音響システムを導入。

**感染症拡大予防物品供給事業**

958万円 福祉施設・学校・公共施設等への供給、整備及び備蓄用物品を購入。また、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設営備蓄品等を整備。

地域防災計画改定業務

376万円 気象情報の新基準及び新型コロナウイルス感染症に対応した避難、被災者支援等の見直しを実施。

高度無線環境整備推進事業

980万円 地域における情報化の推進に向け、村内全域に光ケーブル網を整備。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

5,728万円 生活支援の観点から、住民税非課税世帯等に、1世帯10万円を給付。

子育て世帯臨時特別給付金給付事業

6,732万円 子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、児童を養育している者の年収が960万円以上（子ども2人と年収103万円以下の配偶者の場合。児童手当に準じる。）の世帯を除き、高校3年生までの児童の世帯に児童1人10万円を給付。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

403万円 生活支援の観点から、住民税非課税の子育て世帯に対し、児童1人5万円を給付。

健康福祉センター感染予防対策事業

1,695万円

- ・高齢者が多く集うセンターの感染症防止対策のため、空気清浄機の購入やトイレ・洗面等の非接触化等を実施。
- ・複合施設であるセンターに発熱外来や新型コロナワクチン予防接種会場の機能が付加され、感染症の状況変化に対応するため、診療所に医師の派遣を実施。

医療・福祉施設等運営支援事業

650万円 新型コロナウイルス感染症の感染リスクの影響を大きく受けている医療・介護・福祉に携わる村内事業所に向けた支援を実施。

新型コロナウイルスワクチン接種会場環境整備事業

320万円 新型コロナウイルスワクチン予防接種の大規模会場である健康福祉センターに自家用車で来場数が大幅に増加するため、駐車場を整地し、利便性・安全性を確保する。また、換気効率を図る網戸の設置や出入り口の非接触化を実施。

新型コロナウイルス予防接種事業

7,330万円 新型コロナウイルスワクチンの予防接種システム改修や接種券印刷発送業務等を実施し、対象者の範囲や接種回数の増加、ワクチン接種に関する情報の周知啓発等状況変化に対応し速やかな接種を実施。

地域内経済循環事業

1,206万円 住民生活の支援並びに村内経済循環を目指し、村内事業所等で利用できるクーポン券「明日香応援券」の全世帯配布を実施。

飲食店等受入環境整備支援事業

512万円 コロナ禍における感染症拡大抑制に向けて重要な施設となる飲食店等において、感染リスク軽減に向けた環境整備に対する支援を実施。

感染リスク軽減事業

209万円 観光来訪等による人流促進時期において、受入側及び来訪者における自己負担なしでの抗原検査推進による感染リスク軽減対策を実施。

学校施設におけるデジタル化推進事業

1,958万円 県下統一の統合型校務支援システムの導入に向け、必要な環境整備を行った。(校内LAN整備、端末及び周辺機器購入)

中央公民館改修事業

3,854万円 コロナ禍において不足することが予測される避難所としても活用できるよう、所用の改修を行った。(耐震改修、空調機器更新、弾性床への改修等)

学校感染症対策事業

200万円 感染予防対策として、幼稚園・小中学校の教室やランチルーム等、園児・児童・生徒が触れる場所に抗菌コーティング処理を行った。

歴史文化資源活用事業

197万円 歴史文化資源を活用した観光来訪者の獲得や感染防止に対応した新たな収益化の仕組み(文化財、景観維持を目的とした協力金の募集)の検討業務の実施。

犬養万葉記念館整備事業

411万円 コロナウイルス感染防止対策として、老朽化により機能低下していた空調設備を換気機能付空調設備への改修工事を実施。